



安心して子育てが できるまち

Child-growing Supporting City



「安心」を育てると すくすく育つ

出産や育児に対する支援から、
地域における子育て機能の
充実を図り、親も子どもも育つ
“子育て”支援に取り組んでいます

豊田市では、安心して子どもを産み、子育ての喜びを実感できる環境づくりに取り組んでいます。特に子育て力の向上につながる“親育ち支援”にも積極的に取り組み、親子が集い情報交換できる広場や地域での子育て機能を充実。また、子どもの主体性を尊重した“子育て力”の向上を目指して子どもが育ち、学ぶ環境の整備にもより一層、力を注いでいきます。

親と子が気軽に遊べる場所があります。

子育て支援センター・子どもつどいの広場

子育ての悩み相談や子育て情報の提供、子育てサークルの育成・支援など、主に0～3歳の乳幼児とその保護者を対象に、子育てをサポートする地域拠点として市内16か所に整備。親子が気軽に集い、参加できる育児講座やイベントなども開催しています。



柳川瀬子どもつどいの広場

大学卒業まで続く サポートで、子育て家庭の 負担を軽減します。

乳幼児から大学卒業までの子どもが対象の、「子ども医療費助成制度」で医療費の自己負担分を助成。子育てにおける保護者の経済的、精神的負担を軽減し、子育て家庭を支援しています。

※助成対象は以下のとおりです。

- ・中学校卒業（15歳に達した年度末）までの入院区分
- ・中学校卒業後18歳に達した年度末までの入院区分
- ・大学等に在学中の人の24歳に達した年度末までの入院区分



子育て支援センター利用ファミリーの声

子育て支援センターの方たちは家族同然に接してくれるので、子どもを安心して遊ばせることができます。イベントもたくさんあるので、親も一緒に楽しめます。県外から移住した私たちにとって、ママ友もできて本当にありがたい施設です。地元の友人にもうらやましがられています。子どもも毎日来たいというくらい支援センターが大好きです。



豊田市は子育てを楽しめるまちです。
「おめでとう訪問」など、一人で悩まない子育てを応援します。

地域の子育てボランティアとして「母子保健推進員」を養成し、生後1～3か月の乳児のいる家庭への訪問事業を展開。救急医療や子育て相談に関するコールセンターを設置しているほか、育児に関して心配ごとがある人に、地区担当の保健師を紹介するなど、一人で悩まない子育てを推進しています。

【母子保健推進員】

黄色いエプロンをつけた「母子保健推進員」が、身近な子育ての先輩として、育児のアドバイスや子育て情報を提供します。笑顔とやさしい言葉で育児不安をやわらげ、地域における子育ての互助機能を支えています。

【とよた急病・子育てコール24～育救さんコール～】

病院受診前の相談先として、また育児で不安になった際すぐに相談できる先として、救急医療と育児相談の両方を受け付けるコールセンターを設置し、24時間365日、子育ての悩みをサポートできる環境を整えています。



母子保健推進員

Establishment of an Environment for Both Parents and Children to Grow, Free from Worry

In Toyota City, we aim to establish an environment where residents can start and raise families without any anxieties. While improving our local environment for the sound growth of children, we help parents develop first-class parenting abilities, thereby striving to establish an environment where both parents and children grow together. In the city, there are 16 Parenting Support Centers & Children's Interaction Squares, each of which, acts as a local base providing parenting support for infants and their parents. In addition, citizen volunteers, known as Maternal and Child Health Advisors visit households with babies aged from one month to three months, in order to provide parenting advice and other necessary information. Moreover, these volunteers introduce local public health nurses to those who are worried about their parenting. Thus, parenting is supported by the entire city. In addition to that, regarding administration services, we ensure that all children, from infants to junior high school students, receive medical services free of charge, thereby reducing their parents' financial burdens. We also started a 24-hour/7-days-a-week Child Rearing Telephone Guidance Center to advise parents on medical emergencies and about other difficulties related to child growing.

